

見せましよう!

日本語教師の 底力 広がる日本語教育と 人材の活躍の場

日 時 2019年(令和元年)

9/7 土 13:00-17:00 9/8 日 10:00-16:30

会 場 文部科学省 ▶ 東京都千代田区霞が関 3-2-2

参 加 費 無料

対 象 外国人に対する日本語教育に関心のある方

参加申込 1日目：申込不要
2日目：一部 要事前申込み

昨今、改正入管法の施行や「外国人材受入れのための総合的対応策」の公表、さらには「日本語教育の推進に関する法律」の成立などの新たな動きが矢継ぎ早に進み、日本語教育関係者にとって大きな変化が訪れています。これらを受けて、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会では、日本語教育能力の判定および標準についての議論が進められ、日本語教育も新たな展開を迎えようとしています。

このような状況を踏まえ、1日目には、各省庁による日本語教育に関する施策の説明を行うとともに、現在議論が進められている日本語教育の標準についてパネルディスカッションを実施します。

2日目には、これから日本語教育分野で働くことを目指す人が、様々な日本語教育の分野で活躍している先輩から直接話を聞く場を設けるとともに、様々な文化庁事業の実施団体から日本語教育人材養成・研修や地域日本語教育に関する報告を行います。併せて、日本語教育において関心が高いテーマについて実践報告を行い、現場での課題解決に向けた情報共有を行います。

スケジュール

1日目
9月7日(土)

13:00～13:10 開催挨拶(文化庁)
13:10～14:15 日本語教育に関連する外国人施策等について(関係省庁)
14:15～14:35 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の審議状況の説明
14:35～14:50 休憩
14:50～15:20 空白地域における日本語教室設置とコーディネーターの役割
～石川県中能登町における日本語教室空白地域解消推進の取組から～
15:20～17:00 パネルディスカッション
最近よく聞くCEFRって、何のこと?～日本語教育における活用を考える～

2日目
9月8日(日)

10:00～12:00 ①「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう!」
（※要事前申込み(前日のプログラム終了後、会場で申込みを受付。残席がある場合は当日9:30からも予約可。）
②文化庁日本語教育事業 パネル展
(日本語教育人材養成・研修カリキュラム開発等事業、地域日本語教育実践プログラム、
地域日本語教育スタートアッププログラム)
12:00～13:30 文化庁日本語教育事業 説明会(12:00～13:00)
「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう!～」(12:00～13:30)
13:30～15:30 日本語教育テーマ別実践報告会（※要事前申込み(文化庁「日本語教育大会」ページを御確認ください。)
【第1分科会】Can-do Statementsから始まるこれからの学習、評価、そして実践
～介護、就労、「生活者としての外国人」に対する活用事例から～
【第2分科会】新時代を前に今語ろう、日本語教育の「あの時」
～日本語教育の転換期をひも解く～
【第3分科会】地域日本語教育において何を「体制」と呼び、どう整備するか
～行政と専門家の連携から見る今後の展開への示唆～
15:30～15:45 休憩
15:45～16:30 テーマ別実践報告会報告・総括

申込方法、発表者等の詳細は、
下記文化庁「日本語教育大会」ページを御確認ください。

http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/taikai/



◆文化庁「日本語教育大会」ページ

2日目「日本語教育テーマ別実践報告会」の
事前申込みはこちら

主 催：文化庁

担 当：文化庁 国語課

お問合せ：株式会社文化科学研究所(大会運営担当)

電話：03-5354-6182(9時30分～18時15分)

メール：ifa-nihongo@ifa.co.jp

